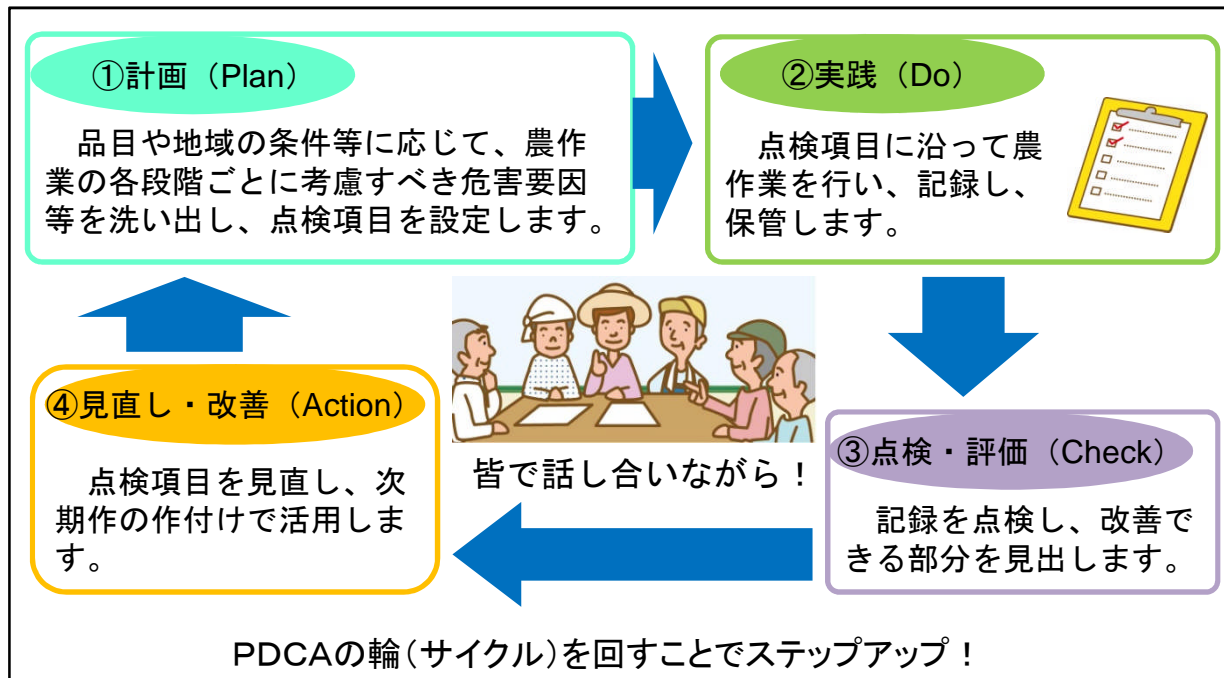


GAP手法（農業生産工程管理手法）とは

○ GAP手法は、生産者自らが、農業生産工程の全体を見通して、食品安全をはじめ様々な観点から注意すべき管理点（点検項目）を定め、これに沿って農作業を実施・記録し、検証を行って農作業の改善に結びつけていく手法です。

（注）GAPは「Good Agricultural Practice（良い農業の実践）」の略。

<GAP手法の導入>



<GAP手法導入のメリット>

食品安全の確保

(例)農薬の残留、重金属、病原微生物の対策など

環境の保全

(例)廃棄物の適正処理、エネルギー節減など

労働安全の確保

(例)農作業事故の回避など

コストの削減

(例)土壌診断による施肥量削減、共同購入など

品質の確保

(例)異物混入防止、収穫物の品温管理など

消費者・実需者の信頼確保

G A P

幅広い目的に応じて農業生産工程全体を通した工程管理（プロセスチェック）ができる手段

レベルアップ

生産履歴記帳

農薬や肥料に係る部分的なリスク管理の手段

GAP手法の導入による改善（例）

目的	チェック項目内容	実践内容	具体的効果
食品安全確保	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の清潔度の確認	施設の清潔度を確認し、「不良」である場合は、どのような改善策を取ったか、対策を求める。	作業場が衛生的になった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 紙袋のロット番号制の導入	紙袋のロット番号管理により、問題発生時にはほ場を特定できるようにした。	特定したほ場の栽培履歴から原因が究明できるため、次作の改善につながるようになった。
食品安全確保・品質確保	<input checked="" type="checkbox"/> 微生物汚染対策 予冷庫内の温度管理	作業前に手洗いとアルコールによる手指の消毒を実践する。庫内の温度を10℃以下に保つ。	果実の傷みを抑制できる。
品質確保	<input checked="" type="checkbox"/> 異物混入対策の実施	出荷前の商品チェックの徹底。 施設(殺菌・培養・収穫・包装・出荷・保管等)の清潔維持。	異物混入クレーム数が以前の半分以下に減少した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 作業所は尻腐果等も選別できる明るさを確保できているか。	作業所照明の明るさの確認。	市場での尻腐果が減少。
品質確保・コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> ほ場まわりの点検	年3回、振興会役員が関係機関と共に、チェック表に基づき全ほ場の点検を行った。	ほ場内外の整備が進み、病害虫及び雑草の発生が減少し、防除回数が減り、品質が向上してきている。
コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 肥料等指定資材及び在庫管理	生産組合で使用する資材を指定し入出庫管理を記録する。	まとめ買いによる安価購入の実現。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適正な施肥の実践	圃場ごとに面積を再確認し、施肥量の見直しを行った。	農家によっては年間施肥量を2～3%削減できた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 肥料の記録、在庫管理	土壌診断による施肥計画。 在庫の使い切り。	肥料購入に無駄が無くなった。以前からの在庫も使いきった。購入額1/2減。
	<input checked="" type="checkbox"/> 農薬の記録、在庫管理	在庫台帳を用意し、入庫・出庫数量を管理。	先入れ・先出しの徹底で期限切れ廃棄を無くした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 農薬の記録、在庫管理	しっかりとした年間の散布計画に基づき、散布前の散布記録の確認及び在庫台帳の確認。	農薬購入に無駄が無くなり在庫も無くなった。購入額が1/3減
	<input checked="" type="checkbox"/> 農薬の飛散防止、適正な農薬使用	静電ノズルを導入した。	散布量を減らせた結果、農薬代を前年比約5%削減。適正な農薬散布と農薬飛散防止に対する意識が高まった。
環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 過剰施肥で硝酸態窒素等による土壌、地下水や作物の汚染が起らないようにしているか。	土壌診断結果を元に、被覆肥料等の緩効性肥料の施肥を実施。	過度の施肥を抑制し、肥効ムラの少ない施肥体系となり、病害虫の発生抑制と生育が促進した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 二重カーテンの隙間等の点検とその修繕	二重カーテン設置後の隙間の有無の点検、それに基づく隙間等の修繕による保温効果のアップを図った。	暖房機の燃料の量が5～10%削減できた。
労働安全確保	<input checked="" type="checkbox"/> 服務基準の作成・実践の徹底	パート従業員全員の健康診断の受診、作業衣等の貸与、熱中症対策の実践など。	従業員の就業意欲・責任感の向上。
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 温室の作業点検の実践 (作業内容毎に作業箇所、作業投下労働力の確認)	温室作業点検票に基づき、芽掻き・巻き付け、誘引・吊り下げ、葉掻き等各作業の実施状況、投下労働力を記入。	計画的な作業が実施でき、作業の遅れが少なくなり生産が安定、向上している。ムダ・ムリ・ムラの減少。